

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 29 年 8 月 31 日 (2017.8.31)

【公表番号】特表 2017-502613 (P2017-502613A)
【公表日】平成 29 年 1 月 19 日 (2017.1.19)
【年通号数】公開・登録公報 2017-003
【出願番号】特願 2016-545352 (P2016-545352)
【国際特許分類】

H 0 4 W 28/20 (2009.01)

【 F I 】

H 0 4 W 28/20

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 14 日 (2017.7.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ワイヤレス通信のための方法であって、

ネットワーク中で通信するための最小帯域幅と最大帯域幅の両方を示す 1 つまたは複数のビットを有するフレームを生成することと、ここにおいて、前記 1 つまたは複数のビットの異なる値が、最小帯域幅と最大帯域幅との異なる組合せにマッピングし、前記異なる値のうちの少なくとも 1 つが、最小帯域幅と最大帯域幅との少なくとも 2 つの異なる組合せにマッピングする、

前記ネットワーク中の送信のために前記フレームを出力することとを備える、方法。

【請求項 2】

前記フレームが管理フレームを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記フレームが、ビーコンフレームまたはプローブ応答フレームのうちの 1 つを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記最小帯域幅が、前記少なくとも 2 つの異なる組合せの各々についての前記最大帯域幅と同じである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記フレームを送信するために使用されるべき帯域幅に基づいて、前記少なくとも 2 つの異なる組合せのうちのどちらを使用すべきかを示すことをさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記 1 つまたは複数のビットが 3 ビットを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記 3 ビットが基本サービスセット (B S S) 帯域幅 (B W) フィールドの 3 ビットを備える、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

ワイヤレス通信のための方法であって、

ネットワーク中で送信されたフレームを取得することと、

前記フレーム中の1つまたは複数のビットに基づいて、前記ネットワーク中で通信するための最小帯域幅と最大帯域幅の両方を決定することと、ここにおいて、前記決定が、最小帯域幅と最大帯域幅との異なる組合せへの前記1つまたは複数のビットの異なる値のマッピングに基づいて行われ、前記異なる値のうちの少なくとも1つが、最小帯域幅と最大帯域幅との少なくとも2つの異なる組合せにマッピングする、

前記決定に少なくとも部分的に基づいて、前記ネットワーク中の通信のために出力することと

を備える、方法。

【請求項9】

前記フレームが管理フレームを備える、請求項8に記載の方法。

【請求項10】

前記フレームが、ビーコンフレームまたはプローブ応答フレームのうちの1つを備える、請求項8に記載の方法。

【請求項11】

前記最小帯域幅が、前記少なくとも2つの異なる組合せの各々についての前記最大帯域幅と同じである、請求項8に記載の方法。

【請求項12】

前記フレームがその上で取得された帯域幅に基づいて、前記少なくとも2つの異なる組合せのうちのどちらを使用すべきかを決定することをさらに備える、請求項8に記載の方法。

【請求項13】

前記1つまたは複数のビットが3ビットを備える、請求項8に記載の方法。

【請求項14】

前記3ビットが基本サービスセット(BSS)帯域幅(BW)フィールドの3ビットを備える、請求項13に記載の方法。

【請求項15】

ワイヤレス通信のための装置であって、

ネットワーク中で通信するための最小帯域幅と最大帯域幅の両方を示す1つまたは複数のビットを有するフレームを生成するように構成された処理システムと、ここにおいて、前記1つまたは複数のビットの異なる値が、最小帯域幅と最大帯域幅との異なる組合せにマッピングし、前記異なる値のうちの少なくとも1つが、最小帯域幅と最大帯域幅との少なくとも2つの異なる組合せにマッピングする、

前記ネットワーク中の送信のために前記フレームを出力するためのインターフェースとを備える、装置。

【請求項16】

前記フレームが管理フレームを備える、請求項15に記載の装置。

【請求項17】

前記フレームが、ビーコンフレームまたはプローブ応答フレームのうちの1つを備える、請求項15に記載の装置。

【請求項18】

前記最小帯域幅が、前記少なくとも2つの異なる組合せの各々についての前記最大帯域幅と同じである、請求項15に記載の装置。

【請求項19】

前記装置の前記処理システムが、前記フレームを送信するために使用されるべき帯域幅に基づいて、前記少なくとも2つの異なる組合せのうちのどちらを使用すべきかを示すようにさらに構成された、請求項15に記載の装置。

【請求項20】

前記1つまたは複数のビットが3ビットを備える、請求項15に記載の装置。

【請求項21】

前記3ビットが基本サービスセット(BSS)帯域幅(BW)フィールドの3ビットを

備える、請求項 2 0 に記載の装置。

【請求項 2 2】

ワイヤレス通信のための装置であって、

ネットワーク中で送信されたフレームを取得するように構成されたインターフェースと

、
前記フレーム中の 1 つまたは複数のビットに基づいて、前記ネットワーク中で通信するための最小帯域幅と最大帯域幅の両方を決定することと、ここにおいて、前記決定が、最小帯域幅と最大帯域幅との異なる組合せへの前記 1 つまたは複数のビットの異なる値のマッピングに基づいて行われ、前記異なる値のうちの少なくとも 1 つが、最小帯域幅と最大帯域幅との少なくとも 2 つの異なる組合せにマッピングし、前記決定に少なくとも部分的に基づいて、前記ネットワーク中の通信のために出力することとを行うように構成された処理システムと

を備える、装置。

【請求項 2 3】

前記フレームが管理フレームを備える、請求項 2 2 に記載の装置。

【請求項 2 4】

前記フレームが、1 つまたはビーコンフレームまたはプローブ応答フレームを備える、請求項 2 2 に記載の装置。

【請求項 2 5】

前記最小帯域幅が、前記少なくとも 2 つの異なる組合せの各々についての前記最大帯域幅と同じである、請求項 2 2 に記載の装置。

【請求項 2 6】

前記装置の前記処理システムは、前記フレームがその上で取得された帯域幅に基づいて、前記少なくとも 2 つの異なる組合せのうちのどちらを使用すべきかを決定するようにさらに構成された、請求項 2 2 に記載の装置。

【請求項 2 7】

前記 1 つまたは複数のビットが 3 ビットを備える、請求項 2 2 に記載の装置。

【請求項 2 8】

前記 3 ビットが基本サービスセット (B S S) 帯域幅 (B W) フィールドの 3 ビットを備える、請求項 2 7 に記載の装置。

【請求項 2 9】

ワイヤレス通信のための装置であって、

ネットワーク中で通信するための最小帯域幅と最大帯域幅の両方を示す 1 つまたは複数のビットを有するフレームを生成するための手段と、ここにおいて、前記 1 つまたは複数のビットの異なる値が、最小帯域幅と最大帯域幅との異なる組合せにマッピングし、前記異なる値のうちの少なくとも 1 つが、最小帯域幅と最大帯域幅との少なくとも 2 つの異なる組合せにマッピングする、

前記ネットワーク中の送信のために前記フレームを出力するための手段と

を備える、装置。

【請求項 3 0】

ワイヤレス通信のための装置であって、

ネットワーク中で送信されたフレームを取得するための手段と、

前記フレーム中の 1 つまたは複数のビットに基づいて、前記ネットワーク中で通信するための最小帯域幅と最大帯域幅の両方を決定するための手段と、ここにおいて、前記決定が、最小帯域幅と最大帯域幅との異なる組合せへの前記 1 つまたは複数のビットの異なる値のマッピングに基づいて行われ、前記異なる値のうちの少なくとも 1 つが、最小帯域幅と最大帯域幅との少なくとも 2 つの異なる組合せにマッピングする、

前記決定に少なくとも部分的に基づいて、前記ネットワーク中で通信するための手段とを備える、装置。

【請求項 3 1】

ネットワーク中で通信するための最小帯域幅と最大帯域幅の両方を示す1つまたは複数のビットを有するフレームを生成するように構成された処理システムと、ここにおいて、前記1つまたは複数のビットの異なる値が、最小帯域幅と最大帯域幅との異なる組合せにマッピングし、前記異なる値のうちの少なくとも1つが、最小帯域幅と最大帯域幅との少なくとも2つの異なる組合せにマッピングする、

前記ネットワーク中の送信のために前記フレームを送信するように構成された送信機とを備える、アクセスポイント。

【請求項32】

ネットワーク中で送信されたフレームを受信するように構成された受信機と、

前記フレーム中の1つまたは複数のビットに基づいて、前記ネットワーク中で通信するための最小帯域幅と最大帯域幅の両方を決定することと、ここにおいて、前記決定が、最小帯域幅と最大帯域幅との異なる組合せへの前記1つまたは複数のビットの異なる値のマッピングに基づいて行われ、前記異なる値のうちの少なくとも1つが、最小帯域幅と最大帯域幅との少なくとも2つの異なる組合せにマッピングし、前記決定に少なくとも部分的に基づいて、前記ネットワーク中の通信のために出力することとを行うように構成された処理システムと

を備える、ワイヤレス局。

【請求項33】

ネットワーク中で通信するための最小帯域幅と最大帯域幅の両方を示す1つまたは複数のビットを有するフレームを生成することと、ここにおいて、前記1つまたは複数のビットの異なる値が、最小帯域幅と最大帯域幅との異なる組合せにマッピングし、前記異なる値のうちの少なくとも1つが、最小帯域幅と最大帯域幅との少なくとも2つの異なる組合せにマッピングする、

前記ネットワーク中の送信のために前記フレームを出力することと

を行うための命令を記憶した、非一時的コンピュータ可読媒体。

【請求項34】

ネットワーク中で送信されたフレームを取得することと、

前記フレーム中の1つまたは複数のビットに基づいて、前記ネットワーク中で通信するための最小帯域幅と最大帯域幅の両方を決定することと、ここにおいて、前記決定が、最小帯域幅と最大帯域幅との異なる組合せへの前記1つまたは複数のビットの異なる値のマッピングに基づいて行われ、前記異なる値のうちの少なくとも1つが、最小帯域幅と最大帯域幅との少なくとも2つの異なる組合せにマッピングする、

前記決定に少なくとも部分的に基づいて、前記ネットワーク中で通信することと

を行うための命令を記憶した、非一時的コンピュータ可読媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0080

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0080】

[0091]特許請求の範囲は、上記で示した厳密な構成および構成要素に限定されないことを理解されたい。上記で説明した方法および装置の構成、動作および詳細において、特許請求の範囲から逸脱することなく、様々な改変、変更および変形が行われ得る。

以下に本願の出願当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

[C1]

ワイヤレス通信のための方法であって、

ネットワーク中で通信するための最小帯域幅と最大帯域幅の両方を示す1つまたは複数のビットを有するフレームを生成することと、

前記ネットワーク中の送信のために前記フレームを出力することと

を備える、方法。

[C 2]

前記フレームが管理フレームを備える、C 1 に記載の方法。

[C 3]

前記フレームが、ビーコンフレームまたはプローブ応答フレームのうちの 1 つを備える、C 1 に記載の方法。

[C 4]

前記 1 つまたは複数のビットの異なる値が、最小帯域幅と最大帯域幅との異なる組合せにマッピングする、C 1 に記載の方法。

[C 5]

前記異なる値のうちの少なくとも 1 つが、最小帯域幅と最大帯域幅との少なくとも 2 つの異なる組合せにマッピングする、C 4 に記載の方法。

[C 6]

前記最小帯域幅が、前記少なくとも 2 つの異なる組合せの各々についての前記最大帯域幅と同じである、C 5 に記載の方法。

[C 7]

前記フレームを送信するために使用されるべき帯域幅に基づいて、前記少なくとも 2 つの異なる組合せのうちのどちらを使用すべきかを示すことをさらに備える、C 5 に記載の方法。

[C 8]

前記 1 つまたは複数のビットが 3 ビットを備える、C 1 に記載の方法。

[C 9]

前記 3 ビットが基本サービスセット (B S S) 帯域幅 (B W) フィールドの 3 ビットを備える、C 8 に記載の方法。

[C 1 0]

ワイヤレス通信のための方法であって、

ネットワーク中で送信されたフレームを取得することと、

前記フレーム中の 1 つまたは複数のビットに基づいて、前記ネットワーク中で通信するための最小帯域幅と最大帯域幅の両方を決定することと

を備える、方法。

[C 1 1]

前記フレームが管理フレームを備える、C 1 0 に記載の方法。

[C 1 2]

前記フレームが、ビーコンフレームまたはプローブ応答フレームのうちの 1 つを備える、C 1 0 に記載の方法。

[C 1 3]

前記決定が、最小帯域幅と最大帯域幅との異なる組合せへの前記 1 つまたは複数のビットの異なる値のマッピングに基づいて行われる、C 1 0 に記載の方法。

[C 1 4]

前記異なる値のうちの少なくとも 1 つが、最小帯域幅と最大帯域幅との少なくとも 2 つの異なる組合せにマッピングする、C 1 3 に記載の方法。

[C 1 5]

前記最小帯域幅が、前記少なくとも 2 つの異なる組合せの各々についての前記最大帯域幅と同じである、C 1 4 に記載の方法。

[C 1 6]

前記フレームがその上で取得された帯域幅に基づいて、前記少なくとも 2 つの異なる組合せのうちのどちらを使用すべきかを決定することをさらに備える、C 1 4 に記載の方法

。

[C 1 7]

前記 1 つまたは複数のビットが 3 ビットを備える、C 1 0 に記載の方法。

[C 1 8]

前記 3 ビットが基本サービスセット (B S S) 帯域幅 (B W) フィールドの 3 ビットを備える、C 1 7 に記載の方法。

[C 1 9]

ワイヤレス通信のための装置であって、

ネットワーク中で通信するための最小帯域幅と最大帯域幅の両方を示す 1 つまたは複数のビットを有するフレームを生成するように構成された処理システムと、

前記ネットワーク中の送信のために前記フレームを出力するためのインターフェースとを備える、装置。

[C 2 0]

前記フレームが管理フレームを備える、C 1 9 に記載の装置。

[C 2 1]

前記フレームが、ビーコンフレームまたはプローブ応答フレームのうちの 1 つを備える、C 1 9 に記載の装置。

[C 2 2]

前記 1 つまたは複数のビットの異なる値が、最小帯域幅と最大帯域幅との異なる組合せにマッピングする、C 1 9 に記載の装置。

[C 2 3]

前記異なる値のうちの少なくとも 1 つが、最小帯域幅と最大帯域幅との少なくとも 2 つの異なる組合せにマッピングする、C 2 2 に記載の装置。

[C 2 4]

前記最小帯域幅が、前記少なくとも 2 つの異なる組合せの各々についての前記最大帯域幅と同じである、C 2 3 に記載の装置。

[C 2 5]

前記装置の前記処理システムが、前記フレームを送信するために使用されるべき帯域幅に基づいて、前記少なくとも 2 つの異なる組合せのうちのどちらを使用すべきかを示すようにさらに構成された、C 2 3 に記載の装置。

[C 2 6]

前記 1 つまたは複数のビットが 3 ビットを備える、C 1 9 に記載の装置。

[C 2 7]

前記 3 ビットが基本サービスセット (B S S) 帯域幅 (B W) フィールドの 3 ビットを備える、C 2 6 に記載の装置。

[C 2 8]

ワイヤレス通信のための装置であって、

ネットワーク中で送信されたフレームを取得するように構成されたインターフェースと、

前記フレーム中の 1 つまたは複数のビットに基づいて、前記ネットワーク中で通信するための最小帯域幅と最大帯域幅の両方を決定するように構成された処理システムと

を備える、装置。

[C 2 9]

前記フレームが管理フレームを備える、C 2 8 に記載の装置。

[C 3 0]

前記フレームが、1 つまたはビーコンフレームまたはプローブ応答フレームを備える、C 2 8 に記載の装置。

[C 3 1]

前記決定が、最小帯域幅と最大帯域幅との異なる組合せへの前記 1 つまたは複数のビットの異なる値のマッピングに基づいて行われる、C 2 8 に記載の装置。

[C 3 2]

前記異なる値のうちの少なくとも 1 つが、最小帯域幅と最大帯域幅との少なくとも 2 つの異なる組合せにマッピングする、C 3 1 に記載の装置。

[C 3 3]

前記最小帯域幅が、前記少なくとも2つの異なる組合せの各々についての前記最大帯域幅と同じである、C 3 2に記載の装置。

[C 3 4]

前記装置の前記処理システムは、前記フレームがその上で取得された帯域幅に基づいて、前記少なくとも2つの異なる組合せのうちのどちらを使用すべきかを決定するようにさらに構成された、C 3 2に記載の装置。

[C 3 5]

前記1つまたは複数のビットが3ビットを備える、C 2 8に記載の装置。

[C 3 6]

前記3ビットが基本サービスセット(BSS)帯域幅(BW)フィールドの3ビットを備える、C 3 5に記載の装置。

[C 3 7]

ワイヤレス通信のための装置であって、

ネットワーク中で通信するための最小帯域幅と最大帯域幅の両方を示す1つまたは複数のビットを有するフレームを生成するための手段と、

前記ネットワーク中の送信のために前記フレームを出力するための手段とを備える、装置。

[C 3 8]

ワイヤレス通信のための装置であって、

ネットワーク中で送信されたフレームを取得するための手段と、

前記フレーム中の1つまたは複数のビットに基づいて、前記ネットワーク中で通信するための最小帯域幅と最大帯域幅の両方を決定するための手段と

を備える、装置。

[C 3 9]

少なくとも1つのアンテナと、

ネットワーク中で通信するための最小帯域幅と最大帯域幅の両方を示す1つまたは複数のビットを有するフレームを生成するように構成された処理システムと、

前記少なくとも1つのアンテナを介して、前記ネットワーク中の送信のために前記フレームを送信するように構成された送信機と

を備える、アクセスポイント。

[C 4 0]

少なくとも1つのアンテナと、

前記少なくとも1つのアンテナを介して、ネットワーク中で送信されたフレームを受信するように構成された受信機と、

前記フレーム中の1つまたは複数のビットに基づいて、前記ネットワーク中で通信するための最小帯域幅と最大帯域幅の両方を決定するように構成された処理システムと

を備える、ワイヤレス局。

[C 4 1]

ネットワーク中で通信するための最小帯域幅と最大帯域幅の両方を示す1つまたは複数のビットを有するフレームを生成することと、

前記ネットワーク中の送信のために前記フレームを出力することと

を行うための命令を記憶したコンピュータ可読媒体を備える、ワイヤレス通信のためのコンピュータプログラム製品。

[C 4 2]

ネットワーク中で送信されたフレームを取得することと、

前記フレーム中の1つまたは複数のビットに基づいて、前記ネットワーク中で通信するための最小帯域幅と最大帯域幅の両方を決定することと

を行うための命令を記憶したコンピュータ可読媒体を備える、ワイヤレス通信のためのコンピュータプログラム製品。